

令和2年度 第1回 八代市立図書館協議会 会議録

- ・日時 令和2年11月13日（金）午前9時
- ・場所 八代市公民館 研修室
- ・出席委員 浜崎委員、宮嶋委員、森下委員、徳田委員、丸吉委員、大坪委員、野瀬委員、今田委員、前山委員
- ・欠席委員 上村委員
- ・事務局 北岡教育長、岩崎課長、村上課長補佐兼社会教育係長、西村主任
小出館長、村野統括責任者
- ・公開状況 公開
- ・傍聴者数 0名

1 委嘱状交付

2 教育委員会挨拶

3 自己紹介

4 会長、副会長選出

会長に前山委員、副会長に上村委員を選出 全員異議なしで決定

5 議事

（1）コロナ禍における図書館の運営について（報告）

（事務局）資料をもとに説明。

- ・利用状況は前年度同月比60%～70%減の状況である。
- ・子供の心の安定を一番に考えた。コロナ禍においても、なんとかお話し楽しさを伝えられないか、ということで、絵本を八代弁に変換して音声をつけたものを図書館ホームページ上で公開、お話し会で実施したプログラムの絵本をセットにして貸出するなどの取組を実施した。
- ・展示にも力を入れ10月に実施した、色をテーマにした展示は大好評であった。
- ・本館で図書の除菌機を以前から導入していたが、これが役に立った。
- ・電子図書については、コロナによる臨時休館中は利用が10倍になった。

（A委員）

こんな状況の中、八代市立図書館の名前がメディアなどでぽつぽつ出る。それを見ると、がんばってらっしゃるんだということを感じる。

ブックシャワーについては、分館に設置する予定なのか？

（事務局）

分館へのブックシャワーについては補正予算が成立しており、12月中には設置予定である。

(2) アンケートについて (報告)

(事務局) 資料をもとに説明。

(B委員)

図書館としては滞在時間が短いほうがよいのか、長いほうがよいのか。

(館長)

今はほどほどがよいかと思っている。ただ、開館から閉館まで滞在される利用者の方もいる。

(B委員)

漫画本について置いてほしいという意見があったが、漫画本は良いと思う。今自分は漫画の「三国志」を読んでいるがとても面白い。歴史上の漫画などぜひ置いてほしい。

(C委員)

私も漫画本は良いと思う。必要だと思う。漫画もいろいろあるが。

(事務局)

かがみ図書館では漫画コーナーを設置している。何でもかんでも所蔵するということはできないが、今は熊本県にゆかりのある漫画家の作品や熊本に関連のある漫画を所蔵している。かがみ図書館はどうしても利用が少ないので、漫画本についてはかがみ図書館で借りて、かがみ図書館で返すということを前提に貸出をしている。

(A委員)

せんちょう図書館は開館当時は漫画コーナーがあった。まだ本に親しみが無い方たちも、漫画なら手に取りやすい、漫画もあっていいだろうという当時の館長の考えだったと思う。

(E委員)

どの程度まで置くかということにもなると思う。

(事務局)

本館で漫画本を置けば急激に貸出冊数は増えると思うが、果たしてそれで本当にいいのかということ。本館は分館に比べ本の盗難も多い。

(B委員)

灘高にはこたつ敷きのある図書館がある。落ち着いて、本が読めるのではないか。ぜひ検討してほしい。本を貸すだけが図書館ではない。発想の転換が必要。

(D委員)

スペースの問題や、不特定多数が来るので誰が入るのか分からないという心配はある。

(C委員)

スペースの問題などいろいろあるかとは思いますが、検討してもらいたい。

(E委員)

せんちょう分館のスタッフについて苦情が書かれているが。(子供がいて手がふさがっているのに自動貸出機を勧められたことによる苦情)

(事務局)

言動含めて相手に良い印象を与えられなかったのではないかと思います。せんちょう分館スタッフについては即時指導含め対応した。

(A委員)

こういう意見がある一方で、人は減らしてください、機械でできる部分は機械でという意見もある。

(D委員)

駐車場の要望があがっていたが、あそこは「松濱軒」の駐車場であって、図書館の駐車場はコンクリートの部分だけである。「松濱軒」に来られるお客さんが駐車場が無かったと言われることもある。

(E委員)

厚生会館の利用が入っている日は、ほぼ一杯になっている。

(A委員)

図書館の駐車場はコンクリートの部分だけということを知った。

(C委員)

なかなか知っている人はいないと思う。

(D委員)

空いているときは松濱軒の駐車場を利用すればいい。

(C委員)

図書館の愛称についてはどういう経緯でアンケートに入っているのか。

(事務局)

昨年議会から質問があり、市民に親しみを持ってもらえるよう愛称をつけたらどうかというご意見をいただき、広く市民にお聞きするという回答をしていたので、今回アンケートに入れさせてもらった。

(D委員)

お金を出してつけてくれるところがあれば。ネーミングライツのような。

(C委員)

まあ、これはあまり問題にしなくてもよいのでは。

(委員多数)

愛称がなくても分かる。

(3) 移動図書館の現状及び巡回場所の見直しについて（協議）

(事務局) 資料をもとに説明。

- ・年間利用者数が極端に少ない巡回場所がある。
- ・車両の老朽化
- ・移動図書館が巡回している場所としていない場所の不均衡
- ・巡回場所の見直しの議論がされていない。

こういった理由から巡回場所の見直しなどを今後検討し、次回見直し案を提案させていただきたい。

(C委員)

松高コミセンには古い本がたくさん置いてあるが、入れ替えがされていない。地域の方

たちが寄付された本だと思う。コミセンがある地域は図書館にかかわってもらって、そういう本を入れ替えてもらおうとコミセンでも利用できると思う。

(事務局)

今、以前の公民館図書室としてコミセンの図書を入れ替えを行っているのは、高田コミセンと太田郷コミセンだけとなっている。

(B委員)

移動図書館の費用対効果を考えると、自分は金剛コミセンを利用させてもらっているが、以前は利用者も多かったが、現在は、自分とコミセン職員のみである。見直しのポイントは、移動図書館が来なくなれば、住民に周知を図って、コミセンが読みたい本の要望などを受け付けて、図書館から配達をしてもらえばよいのではないか。今回の見直しでは費用面も重視するという事ではないのか。サービスだけではなく、費用面を重視するという事が見直しのポイントではないかと思う。

(事務局)

ご意見はごもっともだと思う。今回の見直しではそのへんも含めて検討したい。また費用については、利用が少ないということについては、今まで啓発を行政が怠っていたということでもある。今回の見直し案では啓発についてしっかりやるということをご提案する必要があると思っている。

(B委員)

やはり見直しに迫られているということは実感している。

(F委員)

図書館から近い、図書館に行ける範囲の地域は見直しをされたほうがよいのではないか。それとともに、実現可能な範囲で電子図書館の利用や図書の宅配などいくつか選択肢があるよ、ということを示しながら、移動図書館車も老朽化しているということなので、移動図書館の割合を縮小するかたちで、電子図書館や宅配サービスや予約本をどこかで受け取れるといったサービスの方に重点を移していくという方向に何年かかけながらしていくのではないか。コロナの状況もあるので、あまり人と接せずに、でも、必要な本は借りられる、届けられるとよいのではないか。

(C委員)

確かにそのへんも必要だろう。当然ご検討されていると思う。移動図書館の見直しは大変だと思うが頑張ってほしい。

(4) その他

(事務局)

第2回の図書館協議会は2月もしくは3月を予定している。次回の会議で移動図書館の見直し案をご提案させていただきたいと思う。

(H委員)

アンケートの中で飲食ができたらいいという意見があったが、自分もコーヒーを飲みながら本が読めたらいいと思う。また、どんな本が入っているかはネットで分かるのか。

(事務局)

飲み物は自由にお飲みいただけるようになっている。また、本についてはネットで新着本などを見ることが出来る。

(H委員)

分かりました。あと1点。発達障害のある子供たちは図書館になかなか入れない子供も中にはいると思う。保護者もなかなか連れて行けない。漫画本の話が出たが、障害のある子供たちは文字だけの本ではイメージがしづらい。文字と絵がマッチした、そういう子供たちがイメージできる本の紹介コーナーがあればいいと思う。小学生、中学生、高校生もいるので、そういった年齢に対応できるようなものがあれば。

(事務局)

バリアフリーということで、読みやすさに特化した図書コーナーを現在検討中である。ただ、なかなか資料が出回っていないので、徐々に揃えている。外国にルーツのある子供たちも含めて、安心してゆったり過ごしてもらえるような場をつくっていきたい。また、赤ちゃん連れは肩身が狭いという意見もいまだに聞く。本館では元の館長室を全面改修して、赤ちゃんの部屋として多くの方に利用していただいている。そういったものも含めて今後のご意見をどんどん寄せてほしい。

他のご意見無し 終了